

協議事項1 加古川右岸地域における公共交通再編方針について

1. 加古川右岸地域（志方線・広尾線）の現状

加古川右岸地域における路線バスについては、利用者の減少や経営状況の悪化が続いており、1便当たりの乗車人数が10人未満となっている。

また、乗務員不足の影響もあり、神姫バス（株）より志方線（宝殿駅北口～志方西口～細工所北口）及び広尾線（加古川駅～小畑口～広尾東）について、路線休止の申出を受けている。

◆収支状況（平成30年度） （単位：千円）

運行系統名	収入	費用	収支
志方線	3,212	11,441	▲8,229
広尾線	10,576	25,847	▲15,271

※神姫バス提供データ

2. 再編方針

当該地域は高齢化が進展しており、買い物や通院などで高齢者の日常生活における移動手段の確保を求める声が大きくなってきている。

一方、路線バスを必要とするほどの乗車人数が見込めないなか、利用状況に応じた「かこバスミニ」への転換を図り、地域内をきめ細やかに運行する路線へ再編することにより、公共交通網の維持及び地域住民の移動手段確保を図るものである。

3. 個別再編（案）

（1）志方線（宝殿駅北口～志方西口～細工所北口）

プラン：幹線として維持すべき路線であり、今後の運行主体について交通事業者と検討を進める。

再編案：「かこバスミニ」路線として再編

- ・目的 通勤、通学、買い物、通院 等
- ・運行形態 路線定期運行
- ・運行ルート 別紙2のとおり
- ・運行時間帯 かこタクシー程度（6時～20時）
- ・車両 ワゴン車2台
- ・再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和2年3月末）
新規路線の運行開始（令和2年4月1日予定）



※既に運行している「かこバスミニ・しろやま号」は、志方線で再編を行う「かこバスミニ」路線に統合する。

(2) 広尾線（加古川駅～広尾東）

プラン：短期的に維持し、広尾東～小畑口間について、枝線への転換を検討する。

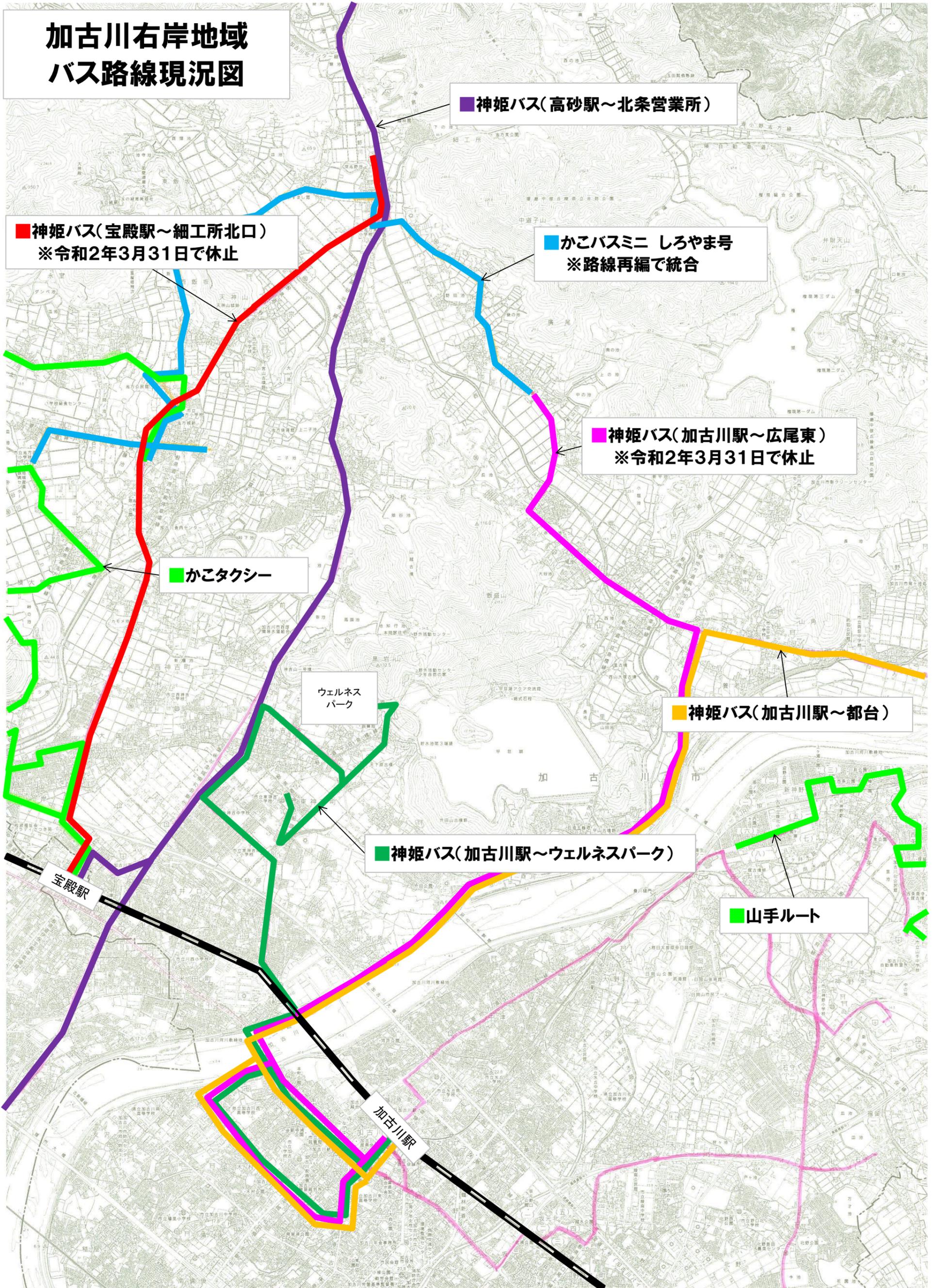
再編案：広尾東～神野駅間を運行する「かこバスミニ」路線として再編

- ・目的 買い物、通院 等
- ・運行形態 路線定期運行
- ・運行ルート 別紙3のとおり
- ・運行時間帯 かこバスミニ山手ルート程度（9時～17時）
- ・車両 ワゴン車1台
- ・再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和2年3月末）
新規路線の運行開始（令和2年4月1日予定）

4. 今後のスケジュール

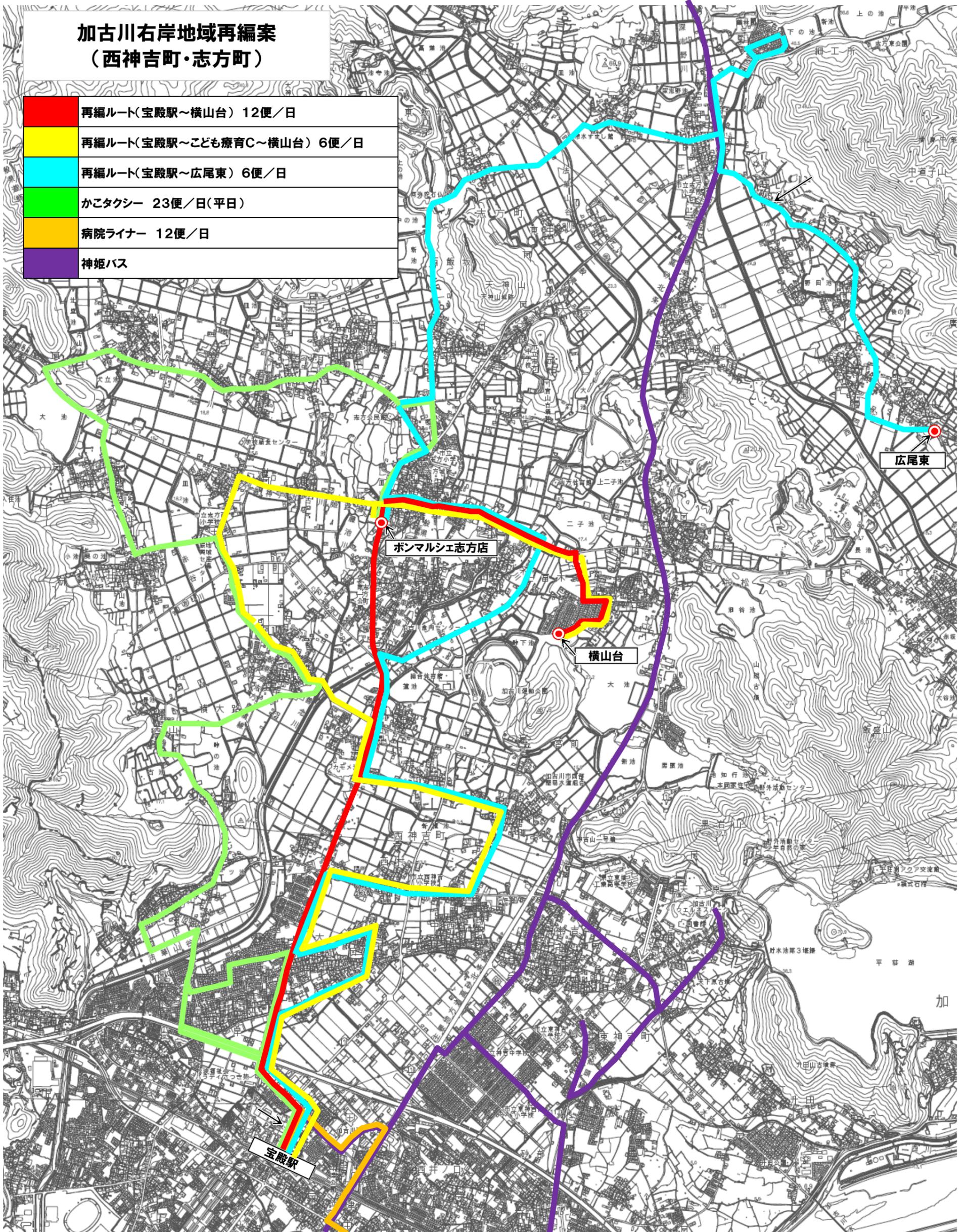
令和元年12月に地域公共交通会議を開催し、再編に係る路線の休止及び新規路線の運行について協議予定。

加古川右岸地域 バス路線現況図



加古川右岸地域再編案 (西神吉町・志方町)

	再編ルート(宝殿駅~横山台) 12便/日
	再編ルート(宝殿駅~こども療育C~横山台) 6便/日
	再編ルート(宝殿駅~広尾東) 6便/日
	かこタクシー 23便/日(平日)
	病院ライナー 12便/日
	神姫バス



協議事項2 加古川南部地域における公共交通再編方針について

1. 加古川南部地域（播磨町線）の現状

加古川南部地域を運行する播磨町線（加古川駅～大崎～播磨町駅）は、運行便数も少なく、利用者が減少している。

また、乗務員不足の影響もあり、神姫バス（株）より播磨町線について、路線休止の申出を受けている。

◆収支状況（平成30年度） (単位：千円)

運行系統名	収入	費用	収支
播磨町線	1,148	5,615	▲4,467

※神姫バス提供データ

2. 地域公共交通プランにおける再編方針

国道250号以南の地域については、かこバスルートの見直し、枝線導入等の再編案を検討する。



3. 再編方針

旧浜国道周辺は比較的人口が密集していることからバスの潜在需要が見込まれるため、播磨町線及び高砂線、別府線を、新たなかこバス路線へ再編することで、通勤・通学にも利用できる運行本数を確保し、幹線の維持・強化を図る。

4. 再編（案）

- 目的 通勤、通学、買い物、通院 等
- 運行ルート 地域住民、交通事業者等 関係機関と協議中
- 運行時間帯 通勤・通学利用が可能な時間帯を想定
- 再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和2年9月末）
新規路線の運行開始（令和2年10月予定）

5. 今後のスケジュール

令和2年度に地域公共交通会議を開催し、再編に係る路線の休止及び新規路線の運行について協議予定。

協議事項3 市内上限運賃制度の導入について

1. 背景

- 市内で運行している神姫バスの運賃は国の認可運賃となっており、距離に応じて100円単位で増加する運賃体系である。
- コミュニティ交通である「かこバス」は、利用のしやすさを重視し、距離に応じて100円、200円と2段階の分かりやすい運賃体系（協議運賃）で設定しており、地域で運行されている公共交通の種別によってバス移動に係る運賃に格差が生じている。
- 「かこバス」は毎年利用者が増加しているが、神姫バス路線では利用者の減少が著しく、運賃が高いこともその一因となっている。
- 近年、神姫バス路線では利用者の減少に伴って、路線の減便・休止が相次いでおり、市内の公共交通網の維持が危ぶまれる状況になりつつある。

2. 制度実施（案）

- 目 的 運賃格差の是正及びバス利用促進
- 制度内容 市内を運行する神姫バスについて、神姫バスのICカード（ニコパカード）を使用し、市内の停留所（市で指定）で乗降した場合、運賃に上限額を設定する。
なお、神姫バスの運賃体系は国の認可運賃のままであるため、設定した上限額と通常運賃との差額は市が負担する。
- 上 限 額 200円（※障がい者等の割引該当者は半額の100円）
- 対象停留所 検討中
- 運用開始予定日 令和2年4月1日

3. 制度実施に伴うコミュニティ交通の運賃の変更について

本市で運行しているコミュニティ交通のうち、「かこタクシー」の運賃体系が100円・200円・300円となっており、上限運賃制度の導入に伴い、100円・200円に変更する。

また、今後導入するコミュニティ交通の運賃についても最大200円までの運賃体系とする。

4. 今後の予定

令和元年7月～ システム構築

令和2年1月～ 町内会等周知

令和2年4月 制度開始

5. 参考資料

神姫バス路線運賃（主要停留所例示）

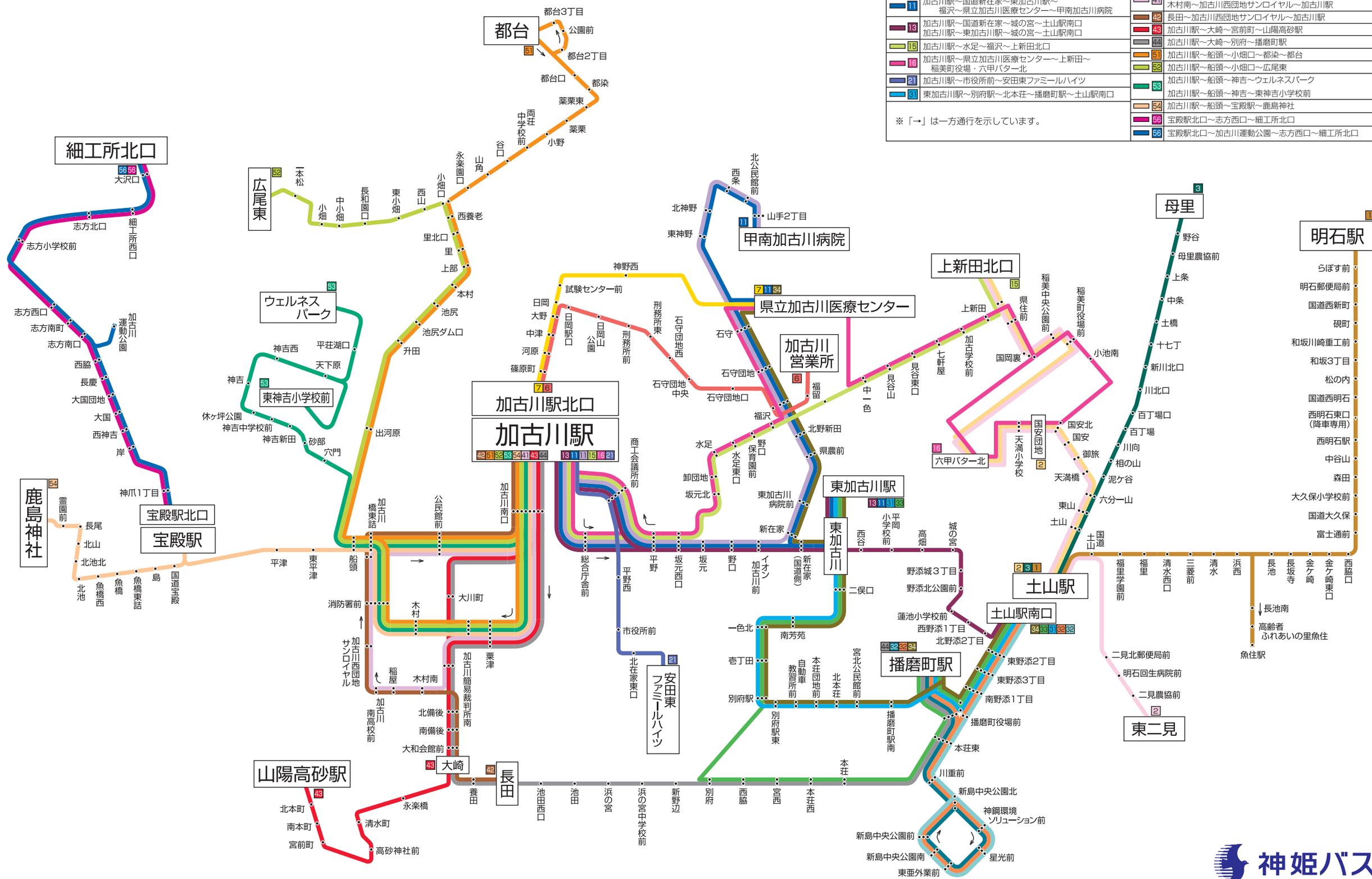
			運賃
加古川駅	⇔	東加古川駅	260円
	⇔	土山駅南口	360円
	⇔	県立加古川医療センター	370円
	⇔	甲南加古川病院	380円
	⇔	安田東ファミリーハイツ	200円
	⇔	長田	270円
	⇔	宝殿駅南口	230円
	⇔	ウェルネスパーク	310円
	⇔	都台	590円
加古川駅北口	⇔	試験センター前	260円
	⇔	県立加古川医療センター	370円
	⇔	日岡山公園	240円
東加古川駅	⇔	土山駅南口	230円
	⇔	県立加古川医療センター	280円
	⇔	甲南加古川病院	360円
宝殿駅北口	⇔	細工所北口	360円

【参考】かこバス

			運賃
加古川駅	⇔	市役所前	100円
	⇔	東加古川駅	200円
	⇔	別府	200円
	⇔	海洋文化センター	200円
	⇔	尾上公民館	200円

※概ね2kmまでは100円。それ以降は200円

加古川 運行系統図



凡 例

1	土山駅～西明石駅～明石駅	32	土山駅南口～播磨町役場前～新島中央公園前～土山駅南口
2	土山駅～魚住駅～西明石駅～明石駅	33	播磨町役場前～播磨町役場前～新島中央公園前～播磨町役場前～土山駅南口
2	土山駅～天満小学校～稲美町役場前～上新田北口	33	土山駅南口～播磨町役場前～新島中央公園前～播磨町役場前～土山駅南口
3	土山駅～母里農協前～母里	34	播磨町役場前～新島中央公園前～播磨町役場前
6	加古川北口～中津～日岡駅～福沢～加古川営業所	38	東加古川駅～別府駅～宮西～播磨町役場前～土山駅南口
7	加古川北口～神野西～県立加古川医療センター	34	県立加古川医療センター～東加古川駅～別府駅～北本荘～播磨町役場前～土山駅南口
11	加古川北口～福沢～甲南加古川病院	41	加古川駅～木村南～加古川西団地サンロイヤル～加古川駅
11	加古川北口～国道新在家～東加古川駅	42	長田～加古川西団地サンロイヤル～加古川駅
11	福沢～県立加古川医療センター～甲南加古川病院	43	加古川駅～大崎～宮前町～山陽高砂駅
16	加古川北口～神野西～城の宮～土山駅南口	44	加古川北口～大崎～別府～播磨町役場前
16	加古川北口～東加古川駅～城の宮～土山駅南口	51	加古川北口～船頭～小畑口～都染～都台
16	加古川北口～水足～福沢～上新田北口	53	加古川北口～船頭～小畑口～広尾東
16	加古川北口～県立加古川医療センター～上新田～稲美町役場・六甲バスター北	53	加古川北口～船頭～神吉～ウェルネスパーク
21	加古川北口～市役所前～安田東ファミールハイツ	53	加古川北口～船頭～神吉～東神吉小学校前
31	東加古川北口～別府駅～北本荘～播磨町役場前～土山駅南口	54	加古川北口～船頭～宝殿駅～鹿島神社
		58	宝殿駅北口～志方西口～細工所北口
		58	宝殿駅北口～加古川運動公園～志方西口～細工所北口

※「→」は一方通行を示しています。